

- + 宇宙物理・天文関連 文献リスト updated 2002.9.8
 - 資料抽出：天文月報 (2000/1-2002/10)
 - 資料抽出：日本物理学会誌 (1999/1 -2002/9)
 - 資料抽出：科学 (2001/4 -2001/12)
 - 資料抽出：Physics Today, パリティ (手元にあったもの 2002/4-5)
- + 一般相対論的現象
 - + 重力波
 - 重力波望遠鏡で宇宙を観る, 藤本眞克, パリティ2002-1
 - 重力波放出の反作用による不安定性の再燃, 小嵩康史, 天文月報2000-7
 - + 「重力波天文学」特集 (主にTAMA300), 天文月報2001-10
 - 古在由秀, 神田展行, 川村静児, 大橋正健, 黒田和明, 高森昭光
 - 世界最高感度を達成した重力波望遠鏡 TAMA 300, 藤本眞克, 日本物理学会誌2001-7
 - + 重力レンズ
 - マイクロレンズで見るクエーサー中心, 米原厚憲, 天文月報2001-11
 - 暗黒物質分布を観測するための大規模構造による重力レンズ効果, 高田昌広, 天文月報2001-11
 - 銀河団の重力レンズ現象, 服部誠, 日本物理学会誌2000-7
 - 重力レンズでMACHOsを探す ダークハローの正体, 西亮一, パリティ1997-8
 - Transient stellar X-ray source yield evidence that black holes really do have event horizons, B.Schwarzschild, Physics Today 1997-4, X線新星が語るブラックホールと事象の地平, 小山勝二訳, パリティ1997-10
- + 宇宙論・銀河分布
 - Qボールド宇宙の暗黒物質とバリオン数の起源一, 川崎雅裕 粘谷伸太, 日本物理学会誌 2002-9
 - 初めも終わりもインフレーション, 横山順一, パリティ2002-1
 - + 宇宙論パラメータ
 - Quintessence, R.R. Caldwell P.J. Steinhardt, Physics World 2000-11, 不思議な物質 クイントエッセンスとは何か, 川崎雅裕, パリティ2001-11
 - Cosmic Microwave Observations Yield More Evidence of Primordial Inflation, B. Schwarzschild, Physics Today 54 (2001)-7, 原始インフレーションのさらなる証拠, 春日隆訳, パリティ2002-2
 - Farthest Supernova Strengthens Case for Accelerating cosmic Expansion, B. Schwarzschild, Physics Today 54 (2001)-6, 宇宙膨張の加速の新たな証拠, 杉山直訳, パリティ2002-2
 - + 宇宙年齢
 - r-processとウラン・トリウム宇宙年代学, 和南城伸也, 天文月報2001-8

- Ia型超新星による宇宙論パラメータ決定と宇宙年齢，戸谷友則，天文月報2001-7
 - 銀河団のヌニャエフ・ゼルドビッチ効果を用いたハッブル定数の測定，伊藤直紀，天文月報2001-5
 - 銀河分布から宇宙の進化を推測する--非線形・確率的バイアス，樽屋篤史，日本物理学会誌2001-3
 - Space Telescope Key Project Completes Task of Measuring the Hubble Constant within 10%，B. Schwarzschild, Physics Today1999-8
 - Very Distant Supernovae Suggest that the Cosmic Expansion Is Speeding Up, B. Schwarzschild, Physics Today1999-6
 - 銀河団の個数分布と宇宙論，北山哲，日本物理学会誌1998-12
 - Cosmology: Going beyond the big bang, M.S. Turner, Physics World 1996-9, ビッグバン宇宙論を超えて，坂井伸之 訳，パリテイク1997-9
 - 銀河形成問題の行方--宇宙論から位置天文まで，郷田直輝，天文月報2000-2
 - 深宇宙の探求，郷田直輝，数理科学 1999-4
 - A Different approach to Cosmology, G.Burbidge, F. Hoyle, J.V. Narlikar, Physics Today 1999-4
 - + 宇宙のトポロジーの観測的検証—宇宙の果てを探る—，井上太郎，天文月報2001-11
 - 宇宙背景輻射による宇宙のトポロジーの探索—宇宙は有限か—，井上太郎，日本物理学会誌2000-11
 - + 特集「宇宙論はどこへ向かうのか」，科学，2001-8
 - 岡村定矩，佐藤勝彦，須藤靖，D.スパーゲル，川崎雅裕，千葉剛，杉山直，梅田秀之 野本憲一
 - + スローン・デジタル・スカイ・サーベイ
 - 宇宙をあなたの手で 動き出したスローン・デジタル・スカイ・サーベイ，岡村定矩，パリテイク2002-1
 - スローン・デジタル・スカイ・サーベイが初期データを公開，嶋作一夫，日本物理学会誌2001-10
 - インフレーション宇宙モデルの動向，田中貴浩，日本物理学会誌2000-12
- + 天体形成**
- + 特集「新天体発見事情」，天文月報 2002-5
 - 宇宙に「天体」はいくつあるか？，長島雅裕，天文月報 2002-5
 - 現代新天体発見事情 山縣朋彦，天文月報 2002-5
 - 新天体の発見と天体発見賞・発見功労賞 山岡 均，天文月報 2002-5
 - 新天体発見業務の紹介 中野主一，天文月報 2002-5
 - 未知の星を求めて 櫻井幸夫，天文月報 2002-5
 - 新天体の五目釣り 高見澤今朝雄，天文月報 2002-5
 - + 星間物質
 - 星間ガスの数値モデル化の試み，和田桂一，天文月報2002-8

- The Gas between the stars, R J Reynolds, Scientific American 2002-1, 銀河の大気 星間ガスのダイナミズム 谷口義明訳, 日経サイエンス2002-4
- + 塵の上でつくられる宇宙の水素分子, 高橋順子, パリテイ 2001-5
 - 星間塵の上での水素分子形成, 高橋順子, 天文月報2000-4
 - 遠赤外 [C II] 輝線の熱的ふるまい, 望月賢治, 天文月報2000-1
 - 活動銀河中心核をとりまくガスの構造—真の中心核はどこか—, 澤田聡子, 天文月報2000-2
 - 大質量星の近傍にある分子雲と星形成—III領域が星形成に与える影響を定量的に調べる—, 山口玲子, 天文月報2000-7
 - CCSの回転遷移輝線のゼーマン効果による高密度分子雲コアの磁場観測, 新永浩子, 天文月報2000-7
 - 分子雲の形成過程, 小山羊, 天文月報2001-8
 - 影絵の電波天文学 自由—自由吸収でさぐる電波銀河の中心部, 亀野誠二, 天文月報2001-1
 - ガスが多い近くの銀河でのいろいろな分子の観測, 高野秀路, 天文月報2001-12
 - ケーサー吸収線で探る宇宙の歴史, 三澤透 家正則, 天文月報2000-12
- + 星形成
 - 中間赤外微細構造輝線でさぐる大質量星形成の現場 —超コンパクトHII領域の電離星—, 岡本美子, 天文月報2002-3
 - 大質量星形成領域における化学組成, 池田美穂, 天文月報2000-2
 - 分子雲コアの化学進化と星形成—分子輝線の分布は何を表しているのか?—, 高桑繁久, 天文月報2000-10
 - 星間雲から星への進化, 富阪幸治, 天文月報2000-10
 - 金属欠乏星にみる元素合成と宇宙—最新の話題とすばる/HDSへの期待, 銀河の進化, 青木和光 梶野敏貴 安藤裕康, 天文月報2001-2
 - 宇宙最初の星形成, 西亮一, 天文月報2001-8
 - 銀河進化モデルに基づくダスト量の定量評価—遠赤外觀測から解明する宇宙の星形成史, 平下博之, 天文月報2001-8
 - 見つかった分子雲コアから原始星へのミツングリク, 古屋玲, 天文月報2001-2
 - 星形成領域における高温・高速プラズマ流の形成, 林満, 日本物理学会誌2001-2
- + 惑星系
 - 宇宙に於ける惨劇：恒星が惑星を飲み込む, Garik Israelian (訳者) 伊藤孝士, 天文月報2002-9
 - 非平衡凝縮理論から読みとる隕石物質の生成環境, 田中今日子, 天文月報, 2002-4
 - Asteroids: Up Close and Personal, C.R. Chapman, Physics World 14-6 (2001), エロスに着陸した探査機が開く太陽系研究の新たな窓 小惑星：その素顔に迫る, 渡部潤一 訳, パリテイ 2002-4
 - 土星リングの局所系N体シミュレーション wake 構造の形勢と観測との比較, 台坂博, 天文月報2000-11
 - "COMET"による comet の観測 ~核が崩壊したリニア彗星 (C/1999S4) ~, 福島英雄, 天文月報2001-3
 - 月の起源 巨大衝突により形成された円盤からの誕生, 小久保英一郎 井田茂, 日本物理学会誌2000-5
 - 「新」ガリレオが明らかにした木星の四大衛星, 佐々木晶, パリテイ 1997-9

- 今年もやってくる？しし座流星雨，渡部潤一，日本物理学会誌1999-11
- Rediscovering Mars, R. Ladbury, Physics Today 1999-10
- + クエーサー，活動銀河核，巨大ブラックホール
 - 大質量ブラックホールの形成過程—恒星系の熱力学的進化の観点から—，牧野淳一郎，日本物理学会誌 2002-5
 - 新種ブラックホールの発見とその意義—成長するブラックホール，松本浩典 松下聡樹 鶴剛 川辺良平，日本物理学会誌 2001-6
- 新種ブラックホールの発見，松本浩典，パリテイ 2001-5
- 活動銀河核のX線時間変動とブラックホール質量，林田清，天文月報2000-11
- + 超新星
 - Ia型超新星が爆発するまで，蜂巢泉，パリテイ 2002-1
 - 激変星の研究—矮新星爆発メカニズム—，尾崎洋二，天文月報2000-7
 - 超新星爆発時に生成される軽元素の存在度比，吉田敬，天文月報2000-11
 - 最も遠い超新星の発見SN1997ff，梅田秀之 野本憲一，科学 2001-6
 - 重力崩壊型超新星におけるジェット状爆発の効果，長滝重博，天文月報2001-9
- + 銀河
 - VERAが描く銀河系の精密立体地図，笹尾哲夫 小林秀行 川口則幸 真鍋盛二，日本物理学会誌 2002-5
 - 衝突する銀河，谷口義明，パリテイ 2002-1
 - 銀河の化学力学進化の数値シミュレーション，中里直人，天文月報2002-1
 - 見えてきた楕円銀河の幼年期，高木俊暢，天文月報2001-9
 - Probing the Faintest Galaxies, H.C. Ferguson R.E. Williams L.L. Cowie, Physics Today 1997-4, もっとも暗い微光銀河を探る，岡村定矩訳，パリテイ 1997-11
 - 宇宙初期に生まれつつある銀河，太田耕司，パリテイ 1997-1
 - 見えてきた100億年前の銀河，山田亨，パリテイ 1997-8
- + 磁気流体
 - 天体アウトロローの磁気流体加速は実際に起っている—動経磁場構造モデルがもたらした停滞と混迷の打破—，岡本功，天文月報2002-2
 - 宇宙ジェット—あるパラダイムの終焉—，岡本功，天文月報2000-3
 - 磁気流体アウトロロー，天文月報2000-9 別冊特集
 - 宇宙の巨大加速器 パルサーの電気力学，柴田晋平，パリテイ 1997-2
- + 観測
 - + 太陽
 - 銀河宇宙線がつくる“太陽の影”と太陽活動，湯田利典，天文月報2002-8

+ 高エネルギー宇宙線

- プレーザーの多波長同時観測と粒子加速への示唆，片岡 淳 高橋忠幸 谷畑千春 窪 秀利，天文月報2002-8
- 宇宙ステーションからの宇宙線観測，鳥居祥二 榎野文命，日本物理学会誌2001-1
- 活動銀河核からの高エネルギー放射--相対論的ジェット--の物理--，片岡淳，日本物理学会誌2001-3
- 宇宙を飛び交う超高エネルギー（デカジュール）宇宙線，手嶋政廣，天文月報2001-3
- 銀河団の衝突：宇宙最大の衝突現象，滝沢元和，内藤統也，天文月報2001-4
- 特集「最高エネルギー宇宙線をとらえる&検証」，科学2001-2
- 宇宙の超高エネルギー現象を解明する宇宙線望遠鏡計画，福島正巳 吉田滋，日本物理学会誌2000-12
- Cosmic Rays, Nuclear Gamma Rays and the Origin of the Light Elements, R.Ramaty B. Kozlovsky R. Lingenfelter, Physics Today 1998-4
- The Highest-Energy Cosmic Rays, T.O'Halloran P. Sokolsky S. Yoshida, Physics Today 1998-1
- 宇宙線のエネルギースペクトルはどこまでのびるか，竹田成宏 永野元彦，日本物理学会誌1999-1
- 宇宙線起源の謎への挑戦，谷森達 吉越貴紀，日本物理学会誌1998-8

+ ガンマ線

- ガンマ線バーストと火の玉，小林史歩，天文月報2002-2
- ガンマ線バースト観測衛星HETE-2の打ち上げ，河合誠之，天文月報2001-7
- HETE-2衛星--宇宙最遠の天体現象を追う，吉田篤正，日本物理学会誌2001-7
- ガンマ線バーストの残光，小林史歩，日本物理学会誌2000-7
- 極限状態の宇宙をガンマ線で探る GLAST衛星計画，釜江常好 大杉節，日本物理学会誌1999-8
- 高エネルギー天体がガンマ線で見えてきた 宇宙の進化発展に深く関わる超高エネルギー現象，木舟正，パリティ 1999-2
- The New Gamma-ray Astronomy, N.Gehrels J.Paul, Physics Today, 1998-2, 新しいガンマ線天文学の展開，釜江常好 訳，パリティ 1998-11
- ガンマ線バーストは何だろうか，中村卓史 谷口敬介，パリティ 1998-06
- 活動銀河中心核からの高エネルギーガンマ線，高原文郎，日本物理学会誌1998-6
- ガンマ線バースト--起源は遠方の銀河？，村上敏夫，パリティ 1997-11
- High-redshift absorption lines show convincingly that gamma-ray bursters are very far away, B.Schwarzschild, Physics Today 1997-7
- Finally a gamma-ray burster shows optical and X-ray afterglows, B.Schwarzschild, Physics Today 1997-6

+ X線

- X線による原始星の研究--その進化と構造--，今西健介 辻本匡弘 小山勝二，日本物理学会誌 2002-9
- + ASTRO-E
- アストロEの悲劇からの再起，井上一，パリティ 2002-1

- ASTRO-E 衛星の打ち上げ失敗と再挑戦, 天文月報2000-6 日本物理学会誌2000-4
 - ASTRO-E衛星搭載 X線マイクロカオリメータ, 満田和久 藤本龍一, 日本物理学会誌2000-5
 - + Chandra
 - チャンドラで見た銀河団, 藤田裕, 天文月報2002-9
 - チャンドラで捉えた星の産声, 坪井陽子, 天文月報2002-2
 - Chandra X-Ray Observatory Examines a New Kind of Black Hole, B. Schwarzschild, Physics Today 2000-11
 - Chandra Probes Deeper into the Mystery of the X-ray Background, C. Day, Physics Today 2000-5
 - + あすか
 - + 小特集X線天文衛星「あすか」, 日本物理学会誌2001-12
 - 序論, 井上一, 日本物理学会誌2001-12
 - 「あすか」が見た星形成領域と若い星, 北本俊二, 日本物理学会誌2001-12
 - 「あすか」が見た白色矮星 中性子星 プラックホール, 河合誠之, 日本物理学会誌2001-12
 - 「あすか」が見た銀河系内の超新星残骸とその関連天体, 常深博, 日本物理学会誌2001-12
 - 「あすか」が見た活動銀河核と宇宙X線背景放射, 國枝秀世, 日本物理学会誌2001-12
 - 「あすか」が見た銀河 銀河団, 大橋隆哉, 日本物理学会誌2001-12
 - あすかの見た超新星残骸, 常深 博, 天文月報2000-5
 - 「あすか」衛星による銀河面サーベイ観測, 山内茂雄他, 天文月報2000-6
 - 「あすか」が見つけた電波ローブからのX線放射, 田代信, 天文月報2000-9
 - 「あすか」で得られた銀河団の高温プラズマの温度分布, 柴田亮, 渡辺学, 天文月報2001-4
 - X線天文衛星「あすか」の8年間の運用と観測の足跡, 長瀬文昭, 天文月報2001-6
 - X線天文衛星「あすか」の大気圏突入とその足跡, 井上一, 日本物理学会誌2001-6
 - X線による銀河団の構造と進化の系統的な研究--銀河団規模での二重構造の発見, 太田直美, 天文月報2001-9
 - 電波銀河のX線観測 現在と過去の活動, 伊豫本直子, 日本物理学会誌2000-6
 - 見えてきた宇宙X線背景輻射の正体, 井上一, パリティ 1998-9
 - New Results Suggest X-ray Emission Is a Common Property of Comets, C. Day, Physics Today 1997-12
 - 巨大プラックホールのX線写真, 小山勝二, パリティ 1997-10
 - Transient Stellar X-ray Sources yield evidence that black holes really do have event horizons, B. Schwarzschild, Physics Today 1997-4
- + 光学
 - + すばる
 - + 特集：すばるか拓く新しい太陽系の描像

- 巻頭言 「特集：すばるが拓く新しい太陽系の描像」によせて、—現実はいつも想像を超えている—, 渡部潤一, 天文月報2002-10
- 太陽系内天体を追うすばる, 布施哲治, 天文月報2002-10
- 太陽系の果てを探る, 木下大輔 山本直孝 布施哲治 渡部潤一, 天文月報2002-10
- 彗星の起源を探る: 分子のオルソ対パラ比が示すもの, 河北秀世 渡部潤一, 天文月報2002-10
- + 特集: すばる
 - 太陽系外の恒星や惑星はどのように誕生したか 「すばる」で迫る星・惑星系形成, 田村元秀, パリティ2002-5
 - Suprime-Camを使った宇宙の果ての銀河の探査 超広視野カメラでとらえたもつとも遠い宇宙, 嶋作一大, パリティ2002-5
 - 分解能0.06秒角の星像を得る補償光学でシャープな星像を, 高見英樹, パリティ2002-5
 - IRCSによって回折限界に迫る「すばる」が拓く赤外線天文学, 小林尚人, パリティ2002-5
 - すばる望遠鏡の本観測開始, 安藤裕康, 日本物理学会誌2002-4
 - すばるフーラストライト論文特集, 海部宣男他, 天文月報2000-4
 - すばる望遠鏡で見る遠宇宙, 家正則, 天文月報2000-11
 - 「すばる」を未来へ, 科学1999-10
 - すばる望遠鏡のフーラストライト, 海部宣男, 日本物理学会誌1999-4
 - The HIPPARCOS Astrometry Mission, M.Perryman, Physics Today 1998-6
 - Two Surveys Begin to Map the Universe in 3 dimensions 2dF SDSS, T. Feder, Physics Today 1998-2
 - Probing the Faintest Galaxies, H.C. Ferguson R.E. Williams L.L. Cowie, Physics Today 1997-4, もつとも暗い微光銀河を探る, 岡村定矩訳, パリティ1997-11
- + 電波天文・サブミリ波・赤外線
 - 低温度星の分子光球—ISOでみる新しい恒星像, 辻隆, 天文月報2001-5
- + 富士山頂
 - 富士山頂サブミリ波望遠鏡とその初期成果, 関本裕太郎, 山本 智, 岡 朋治, 立松健一, 天文月報2000-5
 - 富士山頂サブミリ波望遠鏡で探る星の誕生, 山本智, 天文月報2000-10
- + はるか
 - 電波天文衛星「はるか」が切り拓いている新しい地平, 平林久, 天文月報2000-4
 - 電波天文衛星「はるか」が観る銀河核の姿, 平林久, 日本物理学会誌2001-5
- + VLBI
 - 水蒸気レーザー源のVLBI観測太陽系スケールで見える原始星周辺ガスの回転降着運動, 今井裕, 天文月報2000-1
 - 水蒸気レーザー源のVLBI観測 その2, 星形成フローの三次元運動を眺める, 今井裕, 天文月報2000-6
 - LMSA プロトタイプ10m ミリ波サブミリ波望遠鏡の建設, 浮田伸治, 天文月報2000-8

+ なんてん

- 電波望遠鏡「なんてん」- 南天分子雲を開拓する, 福井康雄, 天文月報2000-8
- なんてんの5年間, 福井康雄, 水野 亮, 大西利和, 水野範和, 天文月報2002-1
- VERA計画始まる, 三好真, 天文月報2000-9
- 電波望遠鏡用フェルムレンズアライメントの開発, 氏原秀樹, 天文月報2001-1
- RAINBOW干渉計の受信機開発と共同利用の開始, 芝塚要公, 天文月報2001-9
- + ALMA特集, 天文月報2001-12
 - 海部宣男, 石黒正人, A.Wootten, S.Guilloteau, 川辺良平 近田義広, 長谷川哲夫, 羽部朝男, 中井直正
 - ミリ波天文の危機, 大石雅寿, パリティ1999-5
 - 隠された原始銀河を捜して 赤外線からサブミリ波による深宇宙探査, 谷口義明, パリティ1999-5
- + 宇宙背景輻射
 - Balloon Measurements of the Cosmic Microwave Background Strongly Favor a Flat Cosmos, B. Schwarzschild, Physics Today 2000-7
 - The Cosmic Rosetta Stone, C.L. Bennett M.S. Turner M. White, Physics Today 1997-11
 - 金星探査計画発進, 岩上直幹・中村正人, 天文月報2002-3

+ 特集「データベース天文学」

- データベース天文学, 水本好彦, 天文月報2002-6
- 天文データベースの活動, 中嶋浩一, 天文月報2002-6
- 観測データベースカイブMOKAとSMOKA, 市川伸一, 天文月報2002-6
- すばる望遠鏡のデータベース 高田唯史, 天文月報2002-6
- 早期型銀河の中心部ガス系 富田晃彦, 天文月報2002-6
- 世界の「仮想天文台」計画 洞口俊博, 天文月報2002-7
- アメリカ、ヨーロッパのX線、ガンマ線アライメントの状況, 海老沢 研, 天文月報2002-7
- Digitized Sky Survey I を利用した暗黒星雲の全天探査, 土橋一仁, 天文月報2002-7

+ 天文教育

- 僕が指導教官になった三日間—「君が天文学者になる三日間—太陽系の果てに挑む—」の報告, 志岐成友, 天文月報2000-1
- 世界最強の日食中継ボランティア, 尾久土正巳, 天文月報2000-2
- エポキシ樹脂で重カレンスを作ってみよう, 稲田清夫, 天文月報2000-3
- インターネット天文台の構築 その2. 良い物は作らない, 佐藤毅彦他, 天文月報2000-6
- + 数値天体物理学夏の学校, 大原謙— 富阪幸治 花輪知幸, 天文月報2001-1
 - N 体シミュレーション晩夏の学校, 小久保英一郎, 天文月報2002-3

- プラネタリウムの国勢調査, 渡部義弥, 天文月報2001-2
- プラネタリウムの将来と天文学会, 毛利勝廣, 天文月報2001-3

+ 研究環境・大学独立法人化問題

- 国立大学・大学共同利用機関の独立行政法人化問題に関する日本天文学会および日本学術会議天文学研究連絡委員会の共同声明, 天文月報2000-1
- どうなる? これからの天文学研究環境のゆくえ (第1回) 「天文学研究者人口調査」, 沢武文, 天文月報2000-1
- どうなる? これからの天文学研究環境のゆくえ (第2回) 「当事者から眺めたPD・OD問題」, 今井裕, 天文月報2000-2
- どうなる? これからの天文学研究環境のゆくえ (第3回) 「教官からの現状報告及び提案」, 観山正見, 天文月報2000-3
- どうなる? これからの天文学研究環境のゆくえ (最終回) 「日本の学術体制と天文学」, 池内了, 天文月報2000-4
- 天文学分野の女性研究者問題アンケート調査の結果報告〈前編〉, 加藤万里子 池内了, 天文月報2000-3
- 天文学分野の女性研究者問題アンケート調査の結果報告〈後編〉, 加藤万里子 池内了, 天文月報2000-4
- 大学と研究者, 石田けい一, 天文月報2000-5
- 大学改革はどこへ向かうのか? 特集, 科学2001-10
- 国立研究所の独立行政法人化, 田中一宜, 日本物理学会誌2000-11
- 特集「大学の独立法人化問題」, 池内了 牟田泰三 釜江常好, 日本物理学会誌2000-9
- Astronomers Envision New Observing Instruments in Next Decade to Focus on Farthest Reaches, I. Goodwin, Physics Today 2000-7
- Space Scientists Split on Proprietary Data Rights, T. Feder, Physics Today 1998-11

+ その他

- Physics and Archaeology, E.G. Garrison, Physics Today, 54-10 (2001), 遺跡の時代・素材・来歴は, 物理学で解明できる考古学と物理, 家泰弘訳, パリテイ2002-4
- Search for Extraterrestrial Life Gets a Steady Eye, T. Feder, Physics Today 2000-10
- 推古天皇36年の皆既日食記事の信憑性, 谷川清隆, 相馬 充, 天文月報2002-1
- 太陽系の年代学, 冨本尚義, 天文月報2000-3
- 星食から生まれたGHS時計, 早水 勉 下代博之 相馬 充, 天文月報2000-12
- たかが名前, されど名前: 彗星命名法についての日本のアピール, 渡部潤一, 長谷川一郎, 高見澤今朝雄, 天文月報2000-9
- 地球内部でのホイール=リットルトン降着体の運動-ブランチホールシンδροム2000-, 福江 純, 天文月報2000-8
- ホイール=リットル降着, 福江純, 天文月報2000-6
- 飛び出す月 Coming Moon 計画-地平視差を用いた月の立体視観測, 半田利弘 縣秀彦 福島秀夫, 天文月報2000-8
- NASA sets ambitious strategic plan for space science, T.Feder, Physics Today 1997-9
- One Hundred Years of Astronomy in America, Physics Today 1999-5

- 観測機器固有のもの・歴史回顧的な文章は省いてある.